

2021年4月創設 先端総合研究機構 — 帝京大学の新しい研究の場が板橋地区に誕生 —

先端総合研究機構（略称：先端総研）は、大学全体としての研究力向上、研究活動の活性化を目指すことを目的として創設される新しい組織です。英語名は、Advanced Comprehensive Research Organization 略称は頭文字を取って、ACRO（アクロ）です。

先端総研には重点研究分野ごとに計8つの部門が置かれます。例えば、「健康科学」や「社会連携」といった本学の特徴や強みを活かした部門、「オープンイノベーション」や「AI活用」といったこれからの時代を見据え押さえておくべき領域に関する部門です。4月の創設時点では19の研究チームがこれら部門との関わりの中で、協力し、また競い合いながら、それぞれの研究を活性化させていきます。研究チームは、これからどんどん増えていく予定です。



先端総合研究機構棟の外観イメージ

ACROの魅力と特色

● 様々な人とつながり、交流する新たな研究の場

研究は各キャンパスで展開されますが、集中して研究に取り組める場、いわゆる flagship shop 的な役割を果たす研究の場として、板橋地区に先端総合研究機構棟が新たに誕生します。すばらしい研究環境の中、国内外の企業や他大学などとの連携にも積極的に取り組んでいきます。

● キャンパスや学問領域を越えた連携研究を通じて、様々な社会的課題の解決を目指す

研究活動を通じて得た知見を様々な社会的課題の解決に役立たせることに重点的に取り組みます。SDGs で取り上げられているような正解がひとつではない課題に立ち向かうには、多様な専門的知見を持ち寄った協働体制、チーム体制での取り組みが必須と言われており、帝京大学においてもキャンパスや学部を越えた連携体制を推進していきます。

● 学生の皆さまが必要とする「力」を身に付けられる活動の場へ展開

研究だけでなく、これからの社会を生き抜くための学びの場としても機能していけるよう、様々な形で学生の皆さまが参加できる姿を探っていきます。

【編集後記】 創刊号である今回は、少し堅苦しい内容となってしまいましたが、これから教職員や学生の皆さまとともに先端総研（ACRO）を創り上げていくため、この ACRO Times を通じて少しずつですが、色々なニュースをお届けしてまいります。皆さまにとりましてもワクワクするような新しい研究の場 となりますよう、お気づきの点などお知らせいただくと、事務局一同とてもうれしく思います。